

# 愛媛県木材協会だより

## 愛媛県木材協会だより

2号



### 目次

1. 会長挨拶 ..... P 1
2. 平成27年度補正予算事業報告 ..... P 2~5
3. 木材協会主催・研修会の実施報告 ..... P 6~7
4. 愛媛県CLT普及協議会の活動について ..... P 8
5. 林材業労働災害防止協会愛媛県支部 ..... P 9
6. 平成29年度技能講習・特別教育等実施計画 ..... P 10
7. 柱材提供事業など各種支援制度の変更点ほか ..... P 11
8. 特集：視覚障害のある学生の職業体験 ..... P 12
9. 行政機関（林業関係）・協会職員一覧 ..... P 13~14

## ～ ご挨拶 ～



一般社団法人 愛媛県木材協会  
会長 井関 和彦

一般社団法人愛媛県木材協会の皆様には、日頃から当協会の運営にご協力とご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、平成 28 年 6 月に発表された「日本再興戦略 2016」は、再生可能資源である森林資源を持続的に循環利用し、森林の多面的機能を発揮させつつ、国産材の安定供給体制の構築と新たな木材利用の創出を図ることで、林業の成長産業化を実現することが重要な課題であるとしており、木材利用拡大の重要性が改めて示されました。

平成 28 年の新設住宅着工数は、全体で 967 千戸、うち木造住宅は 546 千戸と前年をやや上回り、特に木造率は 57%と平成 21 年以降の 55%以上を維持する実績となっています。

しかしながら、これからの新設住宅着工数は減少することが予測され、木材の需要先として非居住用建築の木造化や木質化などへの働きかけが必要であると言われていています。

このため、当協会でも、この分野の建築の多くを占める鉄骨造に替わる木造の設計提案とともに強度や寸法精度において、鉄骨に劣らない木質部材の信頼性の向上や供給体制の整備などが課題であると考えて、取り組みを進めています。

今後、拡大していくと予測される木質バイオマス利用や木材輸出への対応が求められており、また 2020 年開催予定の東京オリンピック・パラリンピック競技大会は、内外に木の文化・木材の良さを PR できる絶好の機会として、新国立競技場をはじめ関連施設への木材利用に業界が協力する必要があります。

一方、違法伐採対策推進のための合法性、持続可能性が証明された木材・木製品の使用への関心が高まり、合法木材の利用を政府調達から民間需要へと拡大を図るため、昨年 5 月には「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律（クリーンウッド法）」が成立し、本年 5 月 20 日から施行される予定です。

このように木材を取り巻く状況も目まぐるしく変化しておりますが、今こそ変化への適応力が求められていると認識し、愛媛県木材協会は、会員の皆様のご協力を仰ぎ、関係機関とも連携して、消費者ニーズに応える木材製品を供給し、様々な分野へ木材需要を拡大していくことで、地域経済の活性化に寄与していきたいと考えております。

## ～平成27年度補正予算 事業報告～

当協会では昨年に引き続き、国助成事業の「地域材利用の木材関係者等への支援対策事業」に取り組み、愛媛ブランド材「媛すぎ・媛ひのき」の普及・PR活動を行い、地域材の利用促進に努めました。

木材協会だよりでは、次の2つの事業についてご紹介します。

### ①中大規模建築物の木造化を想定した検討会の開催

中大規模建築物の木造化を想定し、県内の設計・建築業者と連携し、木造化に必要となる地域材の品質や供給体制等の整備、木造化を具体的に進めるための検討会（3回開催）を行いました。

#### ○講演会

- ・日時 平成28年5月24日 17:15-18:15
- ・場所 国際ホテル松山（松山市一番町）
- ・人数 木材協会員 47名
- ・内容 演題 「公共施設等への木材利用の高まりと木材業界の対応策について」  
講師 木構造振興(株) 客員研究員 原田浩司



#### ○第1回検討会議

- ・日時 平成28年7月25日 13:30-16:30
- ・場所 林業会館3階（松山市三番町）
- ・人数 木材協会員、県建築士会員、行政担当者 55名
- ・内容 ①基調講演  
演題 「木造建築の意義と現在の動向」  
講師 木構造振興(株) 客員研究員 原田浩司  
演題 「木造建築への関わりと課題」  
講師 中大規模木造建築物構造設計地域リーダー 柚山一利  
中大規模木造建築物構造設計地域リーダー 豊田恵介  
②基調講演を踏まえての意見交換 座長 原田浩司



#### ○第2回検討会議

- ・日時 平成28年8月30日 13:30-17:15
- ・場所 新居浜市ものづくり産業振興センター会議室（新居浜市）
- ・人数 木材協会員、県建築士会員、行政担当者 49名
- ・内容 ①現地視察 (株)瓜守材木店、三王ハウジング(株)  
②基調講演  
演題 「中大規模建築物への地域木材供給の課題」  
講師 木構造振興(株) 客員研究員 原田浩司



- 演題 「第1回検討会議のグループ協議内容と今後の対応」  
 講師 中大規模木造建築物構造設計地域リーダー 柚山一利  
 中大規模木造建築物構造設計地域リーダー 豊田恵介  
 演題 「JASの強度区分と県産材の特性」  
 講師 林業研究センター 主任研究員 玉置教司  
 ③基調講演を踏まえての意見交換 座長 原田浩司

### ○第3回検討会議

- ・日時 平成28年9月30日 14:00-16:45
- ・場所 林業会館3階（松山市三番町）
- ・人数 木材協会、県建築士会、行政担当者 66名
- ・内容 ①基調講演

- 演題 「中大規模木構造に対応する製材品の生産について」  
 講師 八幡浜官材協同組合 菊池繁人  
 演題 「中大規模木構造を地域で建築するために考えること」  
 講師 和田建築設計工房 和田耕一

- ②基調講演を踏まえての意見交換 座長 原田浩司  
 ≪話題提供≫演題 トラスを造ろう！  
 ③協議内容のとりまとめ



この事業では計3回の検討会を通じ、設計士側と木材関係者側が互いに疑問点や課題を話し合うことで、「木質部材」、「発注」・「入札」の仕組み、「施工方法」や「納期」などについて理解を深めるほか、木材製品の生産過程を知ってもらうため、設計士を対象とした現場視察も行いました。

話し合いの中で、中大規模建築物の木造化に向けた実態として、設計士が木構造の設計経験がないことから、木造以外の方法で設計せざるを得ないことがわかりました。そのため木造化を推進するためには、まず設計士が木造を経験することが重要であることから、平成28年度補正予算事業では講師の原田氏が提案したトラス構法の活用について検討を進めていくこととし、トラスを対象事例として、設計士と材料供給側が、設計・組立・性能評価実験までを一緒に行い、知識と経験を深めることで、木造化を実現したいと考えております。

また、次回の検討会より、市町の公共建築物担当課にも案内を行い、公共建築物への県産材の利用について取り組んでもらうよう呼びかけを行うこととしておりますので、皆様もご理解ご協力の程よろしくお願い致します。

なお講演会と計3回の検討会議の検討結果については、木材協会ホームページ内の「活動報告」→平成28年11月17日付「中大規模木造建築物検討会議の報告書ができました」をクリック、そこから「検討会報告書」ファイルをダウンロードすると閲覧ができます。

## ②県産材で製作したベンチ・テーブルの展示

平成 26 年度補正予算事業では松山空港ビルへ県産材のベンチ・テーブルを 73 台展示しましたが、本年は同製品を県内各市庁舎等へ展示をし、地域材の普及・PR を行いました。各市の展示物と数量、展示場所は以下のとおりです。ベンチ・テーブルのお披露目式の様子は、木材協会のホームページにも掲載しておりますので、是非ご覧ください。

| 市・施設  | 展示場所                | 種類                  | 台数 |
|-------|---------------------|---------------------|----|
| 四国中央市 | 伊予三島運動公園体育館         | ベンチ・2m・クッションあり      | 6  |
| 新居浜市  | あかがねミュージアム          | ベンチ・1m・アーム・クッションなし  | 3  |
|       |                     | ベンチ・1m・アーム・クッションなし  | 1  |
|       | マリンパーク新居浜           | ベンチ2m・クッションあり       | 1  |
|       |                     | テーブル1m・H700         | 3  |
| 西条市   | 小松農村環境改善センター        | ベンチ1m・アーム・クッションなし   | 1  |
|       |                     | テーブル1m・H700         | 1  |
|       | 玉津公民館               | ベンチ1m・アーム・クッションあり   | 1  |
|       | 大町公民館               | ベンチ1m・アーム・クッションあり   | 2  |
|       | 地域創生センター            | ベンチ2m・アーム・クッションあり   | 1  |
| 今治市   | はーぱりー(今治市みなと交流センター) | ベンチ1m・アーム・クッションあり   | 6  |
|       |                     | テーブル1m・H700         | 2  |
| 松山市   | 松山市庁舎(1階)           | ベンチ1m・アーム・クッションあり   | 1  |
|       |                     | ベンチ2m・クッションあり       | 4  |
|       |                     | テーブル1m・H700         | 1  |
| 東温市   | 東温市庁舎(1階)           | ベンチ1m・アーム・クッションあり   | 2  |
|       | 東温市中央公民館            | ベンチ2m・アーム・クッションあり   | 1  |
|       | 東温市川内公民館            | ベンチ2m・クッションあり       | 1  |
|       | 東温市川内支所             | ベンチ1m・アーム・クッションあり   | 1  |
|       | ツインドーム重信            | ベンチ1m・アーム・クッションあり   | 1  |
|       | 東温市ふるさと交流館 さくらの湯    | ベンチ2m・アーム・クッションあり   | 1  |
| 伊予市   | 伊予市新庁舎              | ベンチ1m・アーム・クッションあり   | 3  |
|       |                     | ベンチ2m・クッションあり       | 3  |
| 大洲市   | 大洲市総合体育館            | ベンチ1m・アーム・クッションなし   | 8  |
|       | お殿様公園               | ベンチ1m・アーム・クッションなし   | 1  |
|       | 大洲市総合体育館            | ベンチ2m・クッションなし       | 1  |
| 八幡浜市  | ゆめみかん(八幡浜市文化会館)     | ベンチ1m・アーム・クッションなし   | 1  |
|       |                     | ベンチ2m・アーム・クッションなし   | 1  |
|       |                     | ベンチ2m・アームなし・クッションあり | 1  |
|       |                     | テーブル1m・H700         | 1  |
|       | 八幡浜市保内庁舎            | ベンチ1m・クッションあり       | 1  |
|       |                     | ベンチ2m・クッションあり       | 2  |
| 西予市   | 西予市庁舎               | テーブル1m・H700         | 1  |
|       |                     | ベンチ1m・アーム・クッションあり   | 2  |
|       |                     | ベンチ2m・アーム・クッションなし   | 1  |
|       |                     | ベンチ2m・アーム・クッションあり   | 2  |
| 宇和島市  | 宇和島市吉田支所            | テーブル1m・H1000        | 2  |
|       |                     | ベンチ1m・アーム・クッションあり   | 5  |
| 観光港   | 松山観光港・1階ロビー         | ベンチ1m・アーム・クッションなし   | 2  |
|       |                     | ベンチ1m・アーム・クッションあり   | 2  |
|       |                     | テーブル1m・H700         | 2  |
|       | 松山観光港・スーパージェット出発口付近 | テーブル1m・H1000        | 2  |
| 武道館   | 武道館                 | ベンチ1m・アーム・クッションなし   | 4  |
|       |                     | テーブル1m・H700         | 1  |

《お披露目式》



宇和島市



今治市



伊予市



松山観光港



四国中央市



八幡浜市



新居浜市



西条市



西予市

ご協力いただきました支部長の皆様、本当にありがとうございました。

## ～木材協会主催・研修会の実施報告～

愛媛県木材協会では、JASの普及や認定取得の促進、経営体質の強化、そして更なる木材業界の発展を図るため、研修会を4回開催しました。

### 第1回「JASに関する研修会」

- ・平成28年6月20日（月）13:30-16:00
- ・場所：林業会館中ホール
- ・内容：①JASの概要について  
②JASの新規認定の手順について  
③JAS認定取得後の運用について
- ・講師：（一社）愛媛県木材協会 三好誠治
- ・参加人数 22名



#### 《研修後の感想（アンケートより抜粋）》

- ・JAS規格の根本的な部分がわかっていなかったもので、イチから丁寧に説明してもらえて、大変勉強になった。
- ・今後、JASの改正等があると思うが、引き続き研修会を開いて教えてほしい。
- ・県内事例を混ぜた説明がわかりやすかった。具体的な費用の事例や取得後の運用についてもっと知りたい。

### 第2回「工場視察と研修」

- ・平成28年7月14日（木）13:30-16:00
- ・視察場所：愛媛プレカット(株)、愛媛ドライウッド(株)
- ・内容：①概要説明、業務内容の研修  
②プレカット工場の視察、乾燥工場の視察
- ・参加人数 25名



#### 《研修後の感想（アンケートより抜粋）》

- ・普段見れないところが見れてよかった。
- ・ぜひまた他社の工場も社員に見学させたい。
- ・建築現場の視察にも興味があるのでぜひこのような研修会を開いてほしい。

### 第3回「経理と経営に関する研修会」

- ・平成28年10月13日（木）13:30-15:30
- ・場所：林業会館中ホール
- ・内容：値下げのリスクについて等
- ・講師：青野会計事務所 青野達哉
- ・参加人数 12名



《研修後の感想（アンケートより抜粋）》

- ・ 損益分岐点について、会社の現状をあてはめて検証したい。
- ・ 経営者の立場で社員側も物事を考えることが大事だと感じた。
- ・ 事例の説明が参考になった。

**第4回「今さら聞けない、今なら体験できる木材の基礎知識」**

- ・ 平成29年2月14日（火）
- ・ 場所：愛媛県林業研究センター
- ・ 内容：
  - ・ 木材強度とヤング係数の関係
  - ・ ヤング係数の測定
  - ・ 含水率と収縮の関係
  - ・ 含水率の測定の仕方
  - ・ 破壊試験のデモ見学
- ・ 講師：愛媛県林業研究センター職員
- ・ 参加人数 30人



★各研修会終了後、参加者にアンケートを実施したところ、新たに取り上げてもらいたい研修テーマとして、

- ・ 県内で手配可能な木材の区分けの情報について教えてほしい
- ・ 工務店と製材会社の意見交換の機会をつくってほしい
- ・ JAS取得のメリット、デメリットについて
- ・ 木材の特性・愛媛県産材としてのセールスポイントを教えてほしい

など、たくさんのご意見をいただきました。

事務局では、皆様からいただいたご意見を参考に、今後の研修会のテーマを決めていきたいと考えておりますので、皆様への研修会への参加をお待ちしております。



## ～愛媛県 CLT 普及協議会の活動について～

愛媛県 CLT 普及協議会は平成 26 年 8 月 1 日に CLT の普及と一般化を促進することを目的に設立され 3 年半程経過しました。当初は会員 58 社、賛助会員 2 社で発足しましたが、現在の会員数は 64 社となっております。

その間、講演会・現地研修会を開催するとともに、国の公募事業（H27）や県の委託事業（H27・H28）を活用して CLT の普及に取り組んできました。

その後、平成 28 年度には国の事業により、事業者と協定を結び、愛媛県で最初の CLT を部分使いした社屋を建設し、構造見学会・完成見学会を開催することができました。

また、県からの委託事業で設計士・工務店向けの実務者セミナーを 3 回実施するとともに、若手の設計士と協力し CLT を活用したコンビニの構造設計・計算書の作成のほか、簡易な CLT 展示物の設計をし実際に自分たちで組み立てて披露をするなどの発表会を行いました。

下記は外部講師により実施した主な研修会の概要です

### 記

| 年度 | 事業内容          | 講演の演題                              | 講師名                   |
|----|---------------|------------------------------------|-----------------------|
| 26 | 講演会           | CLT の現状と将来性について                    | 日本 CLT 協会会長 中島浩一郎     |
| 26 | 同上            | 木造建築の現状及び CLT 普及に向けた課題と将来性         | 東京大学特任教授 安藤直人         |
| 26 | 同上            | CLT 部部使い建築物の現状と方向性について             | (株)木質環境建築代表 川原重明      |
| 26 | 同上            | CLT 構造建築物の事例紹介                     | 日本 CLT 協会部長 有賀康治      |
| 27 | 同上            | CLT の実用化に向けた現状と課題                  | 木構造振興(株)客員教授 原田浩司     |
| 27 | 同上            | 将来の木造建築や CLT の可能性について              | 法政大学教授 網野禎昭           |
| 27 | 同上            | すてきナイスグループ(株)物流センター・CLT 事務所建設の取り組み | ナイス(株)部長 野村修一         |
| 28 | 同上            | 工法としての CLT、材料としての CLT、そしてこれからの方向性  | ユヤマ 1 級建築設計工房 柚山一利    |
| 28 | 同上            | CLT が生み出す新たな木造建築                   | 東京大学教授 腰原幹雄           |
| 28 | 設計士・工務店向けセミナー | 意匠設計 木材利用で未来を築く                    | 東京大学名誉教授 安藤直人         |
| 28 | 同上            | 意匠設計 CLT を用いた木造建築物の考え方             | 鍋野友哉アトリエ/TMYA 主宰 鍋野友哉 |
| 28 | 同上            | 構造設計 構造設計から見た CLT の有効な活用           | 福山弘構造デザイン主宰 福山弘       |
| 28 | 同上            | 構造設計 CLT を用いた建築物の設計施工マニュアルの解説      | ユヤマ 1 級建築設計工房 柚山一利    |
| 28 | 同上            | 防耐火 CLT を含めた木造建築物などの防耐火について        | 桜設計集団一級建築事務所代表 安井昇    |

## ～林材業労災防止協会愛媛県支部よりお知らせ～

### 1 愛媛県における平成28年の労働災害発生状況

前年に比べ、全産業において死傷者数は4%増加し、死亡者数は19人と3人増加しました。また、死亡災害の特徴として、墜落災害(8人)、交通労働災害(4人)、年齢別では約半数(9人)が60歳以上となっています。

林業、木材製造業における労働災害の発生件数は次のとおりです。※( )内は死亡者数

- ・林業では増加 対前年比 21%増 29件(0) (平成27年)→35件(2) (平成28年)
- ・木材製造業では減少 対前年比 10%減 31件(0) (平成27年)→28件(1) (平成28年)

28年は、死亡労働災害が7月に木材製造業で1件、8月に林業で2件発生しました。これを受けて、林業では、死亡労働災害多発警報が発令され、支部では、次のような再発防止対策を実施しました。

- ・事業所への指導強化(林業事業体への啓発文書、広報誌の活用、愛媛労働局等との連携)
- ・現場安全パトロールの実施(久万高原町内の17事業体)
- ・緊急集団指導会の開催(松野町、久万高原町の各1回)

### 2 全国林材業労働災害防止大会

第53回全国林材業労働災害防止大会が、平成28年10月25日(火)、香川県高松市で開催され、全国から962名参加しました。

当県からは71名の参加があり、3名の方が表彰されました。また、愛媛大学農学部の山田教授が労働安全機器の開発について活動事例を発表されました。

#### ・受賞者

- |     |                      |
|-----|----------------------|
| 団体賞 | 愛媛県森林組合連合会           |
| 功労賞 | 田代善二 (林災防愛媛県支部 専任講師) |
| 功績賞 | 弓立守 (県森連松山木材市売場所長)   |



### 3 平成29年度 集団指導会

近年の木材製造業における労働災害は、製造業の中でも突出して高い発生状況が続いております。このため、平成28年度から実施している、演習を主体とした木材製造業向けの実践的なリスクアセスメント集団指導会を、今年度も開催します。労働災害の減少に向けた自主的な安全衛生活動の取組をサポートいたしますので、会員の皆様の積極的な参加をお願いします。

また、木材製造業向けには、出前指導会も行ないますので、日程、場所等についてお気軽にご相談ください。

なお、林業向けも引き続き、今年度も開催します。

### 4 平成29年度 技能講習・特別教育等

今年度の技能講習・特別教育等は、次ページに掲げているとおりです。

平成29年4月から受講料を改正しております。

なお、はい作業主任者と木材加工用機械作業主任者の各技能講習については、県内の林業・木材製造業従事者に対して、テキスト代を免除しておりますので、ご活用ください。

# 平成29年度 技能講習・特別教育等実施計画

- ・受講料や申込書等詳細は、愛媛県木材協会のホームページに掲載しておりますので、そちらでご確認ください。
- ・「チェーンソーを用いて行う伐木等の業務従事者安全衛生教育」を今年度から新たに実施します。

実施機関：林業・木材製造業労働災害防止協会 愛媛県支部

|   | 講習科目                                  | 実施月日                         | 実施場所                         |
|---|---------------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 技能講習  | はい作業主任者<br>(法別表18-16)                 | 5月24日(水)～25日(木)              | 愛媛県森の交流センター<br>(東温市：旧緑化センター) |
|   |                                       | 8月30日(水)～31日(木)              |                              |
| 11月15日(水)～16日(木)                                      |                                       |                              |                              |
| 1月24日(水)～25日(木)                                       |                                       |                              |                              |
|   | 木材加工用機械作業主任者<br>(法別表18-1)             | 11月9日(木)～10日(金)              | 愛媛県森の交流センター<br>(東温市：旧緑化センター) |
| 特別教育  | 小型車両系建設機械運転業務<br>(整地、運搬、積込、掘削用 則36-9) | 6月13日(火)                     | 愛媛県森の交流センター<br>(東温市：旧緑化センター) |
|   | 伐木等の業務<br><br>(則36-8)                 | 4月12日(水)～13日(木)              | 愛媛県森の交流センター<br>(東温市：旧緑化センター) |
|   |                                       | 6月14日(水)～15日(木)              |                              |
|   |                                       | 7月26日(水)～27日(木)              |                              |
|   |                                       | 10月18日(水)～19日(木)             |                              |
|   |                                       | 1月17日(水)～18日(木)              |                              |
| 車両系木材伐出機械等の運転業務<br>・ 走行集材機械<br>・ 伐木等機械<br>・ 簡易架線集材装置等 | 7月19日(水)～20日(木)                       | 愛媛県森の交流センター<br>(東温市：旧緑化センター) |                              |
| 機械集材装置の運転の業務<br>(則36-7)                               | 8月4日(金)                               | 愛媛県森の交流センター<br>(東温市：旧緑化センター) |                              |
| 安全衛生教育  | 刈払い機取扱作業<br>(基発66)                    | 5月10日(水)                     | 松山流域森林組合                     |
|   |                                       | 6月16日(金)                     |                              |
|   |                                       | 7月28日(金)                     |                              |
|   |                                       | 10月20日(金)                    |                              |
| チェーンソーを用いて行う伐木等の業務従事者(基発39)                           | 8月18日(金)                              | 愛媛県森の交流センター<br>(東温市：旧緑化センター) |                              |
|   | 12月20日(水)                             |                              |                              |
| 荷役運搬機械等によるはい作業従事者(基発76、148)                           | 8月22日(火)                              | 愛媛県森の交流センター<br>(東温市：旧緑化センター) |                              |

問い合わせは林災防愛媛県支部まで 電話089-948-8973

## ～柱材提供事業など各種支援制度の変更点ほか～

昨年度の木材協会だよりでは、木造住宅に関する支援制度として、柱材の提供事業や利子補給制度などについてお知らせしました。本年度は、事業内容の一部変更点や注意点などについてお知らせします。

### ①えひめ材の家づくり促進支援事業

#### ■変更点など

- ・「柱材80本プレゼント事業」の名称が「県産柱材プレゼント事業」に変わりました。
- ・昨年度は助成額の上限が184,000円でしたが、本年度は147,000円に変更されました。
- ・そのほか、平成29年度の申請時期等につきましては次のとおり予定しております。

|     |         |                        |                |
|-----|---------|------------------------|----------------|
| 第Ⅰ期 | 受付枠130棟 | 受付期間：H29.4.1～H29.7.31  | 上棟期限：H29.7.31  |
| 第Ⅱ期 | 受付枠130棟 | 受付期間：H29.8.1～H29.11.11 | 上棟期限：H29.11.30 |
| 第Ⅲ期 | 受付枠40棟  | 受付期間：H29.12.1～H30.2.28 | 上棟期限：H30.3.10  |

なお、JAS取得会社がJAS製品であることを証明する「JAS格付証明書」は、愛媛県木材協会のホームページに掲載されております「各種資料」の中の同様式をご利用下さい。

### ②地域材利用木造住宅利子補給制度

#### ■お願い

この制度は、変更等はありませんが、施主からの申請に必要な「納材証明書」の発行が遅れ、申請書の提出が上棟後になる事案が出ております。

納材業者の方が「納材証明書」を作成するに当たって、特に下記の点について記載漏れなどがないよう、よろしくお願いいたします。

- ・連絡の取れる電話番号が記入されているか確認のこと。  
(納材証明書の内容につきまして、問合せが必要な場合がありますので、記入をお願いします)
- ・延べ床面積が記入されているか確認のこと。  
(特に記載漏れが見受けられます。)
- ・証明書のあて名が記入されているか確認のこと。
- ・木材使用量(m<sup>3</sup>)は小数点以下4桁まで記入されているか確認のこと。

## ～特集：聴覚障害のある学生の職業体験@宇和国産材加工協同組合～

当協会の宇和国産材加工協同組合（西予市）は、毎年ある生徒の職業体験学習を受け入れています。その生徒とは、愛媛県立宇和特別支援学校（聴覚障害部門）に在籍する男子高校生です。

受け入れの背景には、「障害」を持った生徒を受け入れてくれる企業が少ないという厳しい現実に対し、担当の先生の熱心な思いを理解し、なんとかしてあげたい、少しでも役に立てれば、という井上代表理事の思いにより、数年前から職業体験を受け入れ始めました。



学校や保護者の方の理解もあり、学生本人も木材加工に興味を持ち、2年連続で実習に来ています。期間は平成28年6月6日から17日までの10日間、午前9時から午後3時まで、主に製材工程の製品の仕分け選別、梱包作業を行いました。

「最初は耳が聞こえにくいため、聞き取りにくいと感じることが多く、間違った場所へ木材を運んだり、後ろからトラックが来ても気づかないときもあった。」「常に周囲に気を配りながら行動すること、また周りの人とコミュニケーションをとりながら仕事を進めていくことの大切さを学んだ。」と彼は言います。

企業側にとって職業体験学習を受け入れるということは、生徒の安全面や健康状態への配慮が必要になり、従業員の負担が増えるため、年々受け入れ企業は少なくなっているようです。

井上代表理事は「生徒の皆さんにお金を稼ぐということの大変さを学んでほしい」と期待しています。

さらに、「従業員の相手を思いやる気持ち、周りを気遣う配慮、自分の仕事だけでなく、人や周りを見る余裕がなければ本当の仕事はできない。正直、従業員には負担が増えることになるが、学生をフォローしながら働くという日常とは違う体験をこちらもすることで、日頃から余裕を持って仕事に取り組む姿勢が養われる。そうすることで、会社の成長につながる。」と答えてくれました。

また、学生も「仕事を続けてお金を稼ぐことの大変さについて、身をもって体験することができた。仕事は厳しいけど楽しいということを感じることができた。」と話してくれました。

なお、男子学生がこの職業体験について書いた作文は、平成27年度「心の輪を広げる体験作文」（内閣府）において入選し、表彰されました。（以下、本人と学校の許可を得て転載します。）



学生と井上代表理事

## 「仕事のプロになるために」

僕は、今年の六月に、製材所で二週間の現場実習をしました。これまでの自分は、先のことを考えて行動することができなかったので、今度の実習では、周りを見て自分から行動することを目標にしていました。そして、職場の人とコミュニケーションを取りたい気持ちがありました。担当の人だけではなく、他にも働いている人と話したいと思っていました。

実習の最初は、相手のことをよく知らないのではなかなか話せず、不安で緊張していました。でも、加工場はだまってひたすら仕事をするという雰囲気があったし、工場の中はうるさいので、みんな口を大きく開けて会話していたことで、聞こえにくい僕は助かりました。相手の言葉を理解しよう、仕事に慣れようとがんばりました。

製材所では十人以上の人が働いていましたが、そのうち三人が僕にいろいろな仕事を教えてくれました。木材を運んだり、木の仕分けをしたりしました。初めのころは、聞き間違いをして、失敗したこともあります。「P 地点に運んで」と言われた木材を、僕は「B 地点」に運んでしまったのです。「P」と「B」は口の開け方も音も似ているので、確認が必要だと実感しました。会社の人も、その後はメモや手振りで分かるように教えてくれるようになって、間違いが減りました。

仕事をする中で思ったことは、状況確認をすることの大切さです。それは、聞き間違った失敗のほかにも、リフトやトラック、加工機械などの近くで作業するとき、周りを見ていないと自分自身に危険なことがあったからです。だから僕は、周りを見て、安全かどうか判断して行動するようになりました。

職場の人からは、リフトやトラックが来たら避ける様子を見て、「思ったより聞こえてるんだな」と言われました。最初は「聴覚障がい」の人は、「耳が聞こえない」と思われていたようで、話しかけてもらえませんでした。でも、実際に僕が話している様子や仕事をしている姿を見て、周りの人もだんだん僕のことを理解して、話せるようになりました。聴覚障がいのことを理解している人が少ないと改めてわかりました。

また、聴覚障がい者が実習に来ていることを取材したいと言われ、木材関係の雑誌のインタビューを受けました。とても緊張したけど、レポートの女性が聴覚障がいのことを分かっている、ゆっくり話してもらったので、聞かれたことにきちんと返事をするのができてよかったです。

休み時間には、どこに住んでいるのかとか趣味について、いろいろ話すことができました。リフトに乗せてもらったことも、楽しかったです。でも、僕が相手にたずねるとき、発音がうまくできなくて、分かってもらえないことがありました。そんなとき、会社の人にはメモを使ってくれたけど、僕は何度も聞き直されることがないようにしていきたいと思います。二つ目の目標だった「コミュニケーションを取る」は、まだだめなところがあったので、次の機会に向けてもっと発音練習をしたいと思います。

製材所の仕事は力仕事でした。一週目はきついと思っていたけれど、二週目になると余裕が出て、楽しいと思えるようになりました。加工場の中を無駄のない動きで運転したり、機械操作をしたりと、手際良く働く人たちを見ていると、カッコいいと思いました。同じ職場で働く仲間と信頼しあっているところも、仕事を続けているからこそできることで、すごいなと思います。僕は新人なので、スピードに追いつけなかったり仕分けがわからなかったりすることがありました。担当の人が簡単にできることを、僕が間違えるたびに、経験の差を感じました。

社長さんから、「プロはスポーツだけではなく、仕事を続けている人もプロなんだよ」と教えていただきました。僕はこの言葉が強く印象に残っています。「仕事を続けてお金を稼ぐ」ということに、耳が聞こえるかどうかは関係ありません。僕は社会でプロになれるように、今の学校生活をがんばっていききたいと思います。

## ～県庁・林業研究センター及び当協会職員の紹介～

平成 29 年 4 月 1 日付け県庁・林業研究センター及び当協会職員について紹介します。カッコ内は担当業務及び研究課題です。

### 《愛媛県》

- |          |                           |           |        |
|----------|---------------------------|-----------|--------|
| ● 農林水産部長 | 田所 竜二                     |           |        |
| ● 森林局長   | 小池 賢治                     |           |        |
| ● 林業政策課長 | 佐々木 秀和                    | ● 森林整備課長  | 青野 正義  |
| ● 主幹（事務） | 鳥生 敬央 <small>けいおう</small> | ● 主幹（事務）  | 石川 久二夫 |
| ● 主幹（技術） | 岡 久夫                      | ● 主幹（技術）  | 宮内 隆宏  |
| ● 検査班長   | 玉田 建夫                     | ● 工事検査専門員 | 西部 郁孝  |

### 《木材流通戦略係》

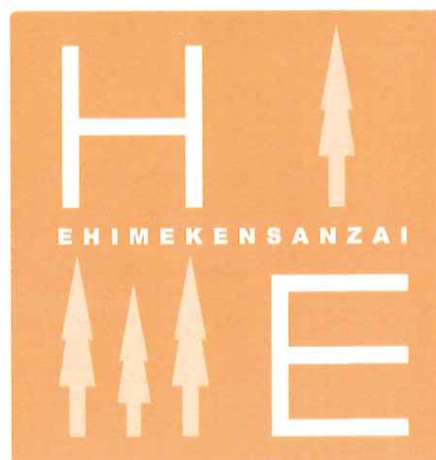
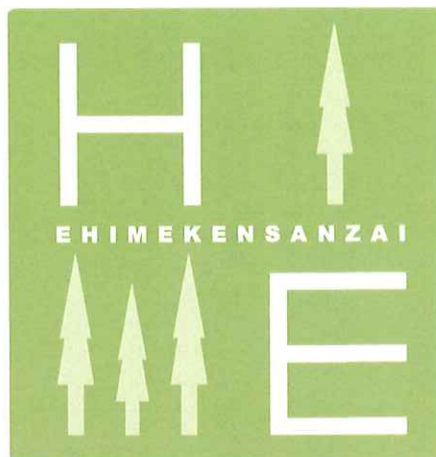
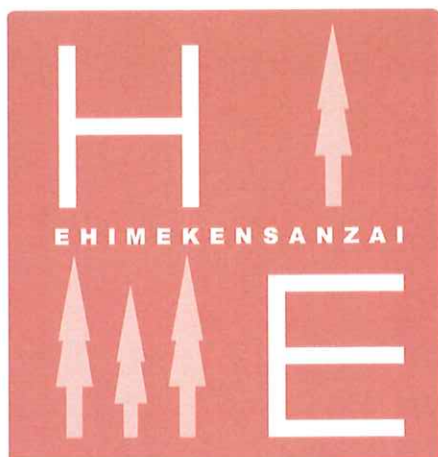
- |                |  |
|----------------|--|
| ● 係長（内 4144）   | 信高 浩二（JAS 規格の普及、認証材制度、国補助事業、木質バイオマス等）                |
| ● 担当係長（内 4143） | 越智 仁夫（県産 CLT 普及促進事業、愛媛県産材製品市場開拓促進事業等）                |
| ● 技師（内 4145）   | 真鍋 文哉（県産材輸出支援事業、県産材販路開拓・製品増産支援事業等）                   |
| ● 技師（内 4146）   | 安東 侑希 <small>ゆうき</small> （公共施設木材利用推進事業、愛媛材住宅普及啓発事業等） |

### 《林業研究センター》

- |          |                                 |
|----------|---------------------------------|
| ● センター長  | 余吾 初徳                           |
| ● 研究指導室長 | 仲田 幸樹                           |
| ● 主任研究員  | 横田 由香（県産クヌギの材質特性の評価及び乾燥技術の開発等）  |
| ● 主任研究員  | 玉置 教司（県産材による直交集成板の試作と強度性能評価等）   |
| ● 研究員    | 中川 美幸（木質ハイブリッド耐火部材及び構造システムの開発等） |

### 《木材協会》

- |        |   |
|--------|---|
| ● 常務理事 | 三好 誠治（JAS 認定工場の検査・指導、国補助事業、JAS 同等材の検査（公共）等） |
| ● 総務部長 | 原田 信幸（JAS 同等材の検査（一般住宅）、利子補給住宅の検査、改善資金等）     |
| ● 業務部長 | 鋤先 孝一（林災防、安全衛生教育研修事業、緑の雇用、巡回特殊健康診断等）        |
| ● 会計主任 | 草園 加奈枝（合法木材事業者認定、林災防の研修に関すること等）             |



**一般社団法人 愛媛県木材協会**

愛媛県木材製材協同組合

林業・木材製造業労働災害防止協会愛媛県支部

〒790-0003

愛媛県松山市三番町4丁目4-1 林業会館3階

TEL: 089-948-8973

FAX: 089-948-8974

H P: <http://ehimewoodpage.com/>